

平成26年度 研究主題

もっと知りたくなる授業の創造

～課題解決型学習を中心に～

今年度は上記の研究主題を掲げて、低学年(1、2年)・中学年(3、4年)・高学年(5、6年)・専科分科会(音楽、図工、理科、少人数算数)の4つの分科会に分かれて、研究を進めています。低学年分科会は「算数」、中学年分科会は「体育」、高学年分科会は「社会」、専科分科会はそれぞれの教科で、全員が研究授業をします。全22回の授業のうち6回は、全員で1つの授業を参観して研究協議会を開き、専門性の高い講師の先生をお呼びしてご指導を受け、一人一人が授業力を上げることをめざしています。今回は前期に行われた研究授業をご紹介します。

体育

3年1組

6月17日(木)



「跳び箱運動」高橋 史記 主任教諭

単元の1時間目、オリエンテーションを行いました。マットや跳び箱の安全な設置の仕方や、友達の動きを見るときに位置などを学習しました。安全に素早く準備をすることで、練習をする時間が多くなります。

感覚づくりの運動では、自分の体を支える腕支持感覚を養うために、うさぎ跳びに取り組みました。



体育

3年2組

6月25日(水)

「跳び箱運動」竹内 不二子 教諭

開脚跳びのポイントを知り、グループで見合い、アドバイスや良かった所を伝え合って練習をしました。踏み台を使ったり、マットの上に跳び箱をのせたりして、いろいろな場を工夫して設定し、子供が自分の課題に合った場を選んで挑戦していました。授業後、「先生、もっと跳びたい!」「やったー、初めて跳べたよ!」と子供たちのいきいきとした笑顔が溢れていました。



体育

3年3組
6月27日(金)

「跳び箱運動」 細小路 幸剛 教諭

事前にたてた自分のめあてをグループ活動を通して解決していきました。「手を奥に着くといいよ！」などと開脚跳びのポイントに基づいてアドバイスを言ったり、アドバイスを生かして改善したりしながら練習をしました。運動を見合い、教え合っていく経験をした子供たちは、互いに技を高め合っていくことの楽しさや充実感を味わうことができました。

〔講師／杉並区立和泉小学校副校長 薩摩 博之 先生〕



図工
5年3組
7月1日(火)

「イロ色な気持ち」

片桐 有紀 教諭

自分の様々な気持ちや感じを形や色で表すことを楽しみました。絵の具の表現方法で、ドリッピング(吹き流し)、デカルコマニー、にじみ、はじきを紹介しました。自分が内面で感じたことを外面に表現することで、児童一人一人の表現の幅が広がりました。



算数

2年2組
9月5日(金)

「三角形と四角形」 梅津 恵美子 主任教諭

最初に「三角形・四角形クイズ」をフラッシュカードのように提示して行いました。その後、子供たちはなぜ、この図形は三角形と四角形なのか、図形の定義を用いて考え、理解を深めていきました。説明をするところでは、意欲的に発表する姿が見られました。ICT機器を用いることによって、子供たちの興味がさらに高まり、子供たちは意欲的に学習に取り組みました。



「お互いの音を聴きあってグループアンサンブルをしよう」

長野 恵子 主任教諭

もっと「表現したく」なる授業を目指しました。グループ毎に違う曲を、自分たちで協力して、譜読みからつくりあげました。一人一人が自分のパートを仕上げ、みんなの音が合わさって、ひとつの曲にできあがった時の達成感が、音楽への興味関心を高めてくれると考えました。そのために、音名を書いた楽譜、手本となる音源、鍵盤のドレミの位置のわかる道具などを用意しました。



音楽

6年1組

9月8日(月)

算数

2年3組

9月8日(月)



「三角形と四角形」 菊田 佳朗 教諭

本時では「直角」についての学習をしました。直角について学習した後、身のまわりにある直角を探す活動を行いました。子供たちは、身の回りにある直角を意欲的に探していました。

こうした活動を通して、「直角」に対する理解を深め、今後学習する「長方形」や「直角三角形」に繋げることを意識して取り組みました。



算数

2年1組

9月10日(水)

「三角形と四角形」 近藤 千賀子 主任教諭

6つの四角形を仲間分けする活動を行いました。その際、既習事項の一つである直角に着目して、友達と話し合いながら分類しました。そして、4つの角が全部直角になっている四角形が「長方形」であることを学習しました。

この後、身の回りから長方形を見付けたり、自分で長方形をかいたりする活動に取り組みました。それまでに学習したことを生かし、大変意欲的に臨む姿が見られました。

〔講師／杉並区立高井戸第三小学校 指導教諭 吉田 映子 先生〕

体育

4年1組
10月15日(水)



「跳び箱運動」 森 裕子 主任教諭

台上前転のポイントをつかみ、グループ学習の方法を学ぶ時間でした。開脚跳びと比べると、台上前転には苦手意識をもつ子供が多いので、低い跳び箱や重ねたマットで、安心して練習できる場も用意しました。台上前転が苦手な子供も、やさしい場でポイントを意識しながら何度も練習していました。「うまくなったね」と友達から声をかけられ、次への意欲をもつことができました。



体育

4年3組
10月21日(月)

「跳び箱運動」 石野 麻衣子 教諭

本時では、台上前転の技をグループごとに見合い、友達のアドバイスをもとに自分の技を高めていく活動を行いました。「手の位置がもっと手前だといいよ」「この間より着地がうまくできたね」などアドバイスし合っていました。

また、やさしい場や自分の課題に合った場を選び、楽しみながら練習している姿が見られました。授業を重ねていくうちに、もっと跳び箱をやりたい、たくさん練習したいという気持ちがふくらんできたのが嬉しいです。



体育

4年2組
10月24日(金)

「跳び箱運動」 数間 亮 教諭

本時では「台上前転のポイントをつかもう」というめあてのもと、グループ内で見合いながら、児童同士のアドバイスをもち、自分の苦手な個所を克服、あるいはより技を上達させる活動を行いました。

エバーマットや重ねマットを使ったやさしい場での練習を繰り返す中で、次第にコツをつかんで、今まで台上前転ができなかった児童が何人も回れる様子が見受けられました。

〔講師／杉並区立和泉小学校副校長 薩摩 博之 先生〕

